

月刊 工連 ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク



本誌もどうぞよろしく
お彩い申し上げます

- 平成25年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 元気カンパニー「(株) ざまみダンボール」
- 県工業技術センター新機器の見学会・意見交換会
- 学校と産業界の交流事業活動報告

1 2014
月号

Vol.590

県内唯一!

サッシ形材製造

秀 金秀アルミ工業株式会社

金秀雨戸



金秀アルミ

検索

沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・
雨戸の事なら

金秀アルミに

お・ま・か・せ!



那覇新都心に完成した
地上30階建ての
「リュークスタワーマンション」

我が社の主力製品「ハイパーサッシ」が採用されました!

ちなみに当社、風洞試験にて「96m」相当の風圧にも耐えられる事が確認。又、昨年9月の台風17号が沖縄に接近した際には、那覇市で最大瞬間風速「61m」の暴風雨にも耐えられる事が実証されました。近年の大型台風では、宮古島で最大瞬間風速「74m」を観測(平成15年9月)。当時、宮古島では、電柱が倒壊したり、風力発電用プロペラ風車羽が吹き飛んだ等の甚大な被害をもたらしています。

秀 金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
鋼建事業部 098-835-8101
軽金事業部 098-835-8102

contents

- 2p 新年のご挨拶
- 3p 公益社団法人沖縄県工業連合会役員名簿
- 4p 新うちな〜むん紹介
「光のカーテン」商品化間近に
金秀アルミ工業株式会社
- 5p 沖縄県工業連合会60周年記念講演会
「メイド・イン・オキナワ逆襲のシナリオ」
NHK解説委員 片岡利文氏
- 6・7p 平成25年度工連・JIS協会合同忘年会
- 8~11p 年賀広告
- 12・13p キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニュファブシ」
心をこめて作られた県産品を
大切に包み込む
株式会社ざまみダンボール
- 14p 県工業技術センター新機器の見学並びに意見交換会
工連:技術開発部会
- 15p 学校と産業界の交流事業活動報告
公益社団法人沖縄県工業連合会
- 16p 故サムエル・C・オグレスビー氏第47回追悼式
- 17p 平成25年度
環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーin沖縄
沖縄総合事務局
- 18p 平成25年度オグレスビー氏奨学金交付式
- 19p 沖縄県地産地消シンポジウム2013
沖縄県農林水産部
琉球大学工学部後援会からのお知らせ
工学部後援会主催就職説明会報告
- 20p 工学部後援会主催就職説明会報告
沖縄職業能力開発大学校
- 21p 沖縄ポリテックビジョン2013
沖縄高専だより
●「久辺テクノフェスタ2013」に参加しました
●うるま市内の小中学生が沖縄高専で授業体験を実施しました
●小学校で出前授業を実施しました
- 22p ●「久辺テクノフェスタ2013」に参加しました
●うるま市内の小中学生が沖縄高専で授業体験を実施しました
●小学校で出前授業を実施しました
- 23p 国立大学法人琉球大学 とっておきの知財
工学最前線(四)大気圧プラズマ滅菌装置の開発
トピックス
- 24p 沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ



2013 DECEMBER 12 工連日誌

- 2日(月) 工連創立60周年記念講演会
●時間/16:00~17:30 ●場所/沖縄都ホテル
工連・JIS協会合同忘年会
●時間/18:00~19:30 ●場所/沖縄都ホテル
- 5日(木) 沖縄県食品産業協議会平成25年第2回執行部会及び忘年会
●時間/17:00~20:00 ●場所/ばやお泉崎店
- 13日(金) 工連技術開発部会
●時間/14:00~16:00 ●場所/沖縄県工業技術センター
- 20日(金) オグレスビー氏第47回追悼式
●時間/11:00~11:30 ●場所/那覇市泊外人墓地

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です

 **0570-082100** (有料)

窓口運営時間・・・8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎ **098-921-2666**

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

2014年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

二〇一四年の新春にあたり謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

平素は、本会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り心から深く感謝を申し上げます。

顧みますと、昨年は創立60周年を迎えた年でありました。この節目の年、「記念講演会」や「記念植樹」を行い、盛會に終えることができました。迎えた本年は、節目の年から新たな一歩を踏み出し、さらなる飛躍を遂げるための意義ある年にしたいと考えております。

さて、最近の日本経済は、政府の経済政策の効果もあり、輸出や設備投資の緩やかな持ち直しがあり、消費税増税前の駆け込み需要や雇用・所得環境の改善を背景に、消費の底上げが続く

など、景気回復のテンポはさらに高まると予想されています。

本県経済も、政府の経済政策や一括交付金などを含む新沖縄振興計画が原動力となり景気回復が明確化になり、懸念であった雇用情勢も改善に向かつております。また、県民の念願であった那覇空港の滑走路増設事業が一月にも本格的に動き出しますが、これは久々の公共施設建設の大型プロジェクトであり、本県経済への波及効果は極めて多大であります。本会は昨年、内閣府大臣、自民党県連、沖縄総合事務局等に対し、同工事の実施に当たり、県内企業の優先発注及び県産資材の優先使用を行うよう強く要請を行いました。

新沖縄振興計画における製造業の振興では、ものづくり基盤技術の高度

化やサポートインダストリー産業の育成を図り、県産品の自給率の向上、県外・国外への販路拡大を強力に推進していくこととなっています。今後、国際物流拠点形成に向けたインフラ整備が本格的に始まりますし、国際物流特区中城湾港新港地区には金型を中心とする機械金属産業の集積が進み、新しい産業立地の可能性を見せています。今後も、本計画の推進に積極的に関与していきたい、本県の製造業振興に寄与できるよう懸命に努力していく所存であります。

本会の昨年は、「県産品奨励月間」、「沖縄の産業まつり」を柱とした各種事業を実施しました。昨年の沖縄の産業まつりは、台風接近により会期を一日短縮し土日二日間の開催になりましたが、約十六万人のご来場があり無事終わることができました。会員を始めとする出展者及び協力業者のご支援の賜とあらためて感謝を申し上げます。その他の事業として、人材育成事業では「新入社員研修事業」、「学校と産業界の交流事業」、技術支援事業では「公設試験研究機関との意見交換」などを実施しました。本年も本県製造業の発展を通して、本県経済の発展及び県民の生活向上に貢献できるよう邁進する所存でありますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、会員の皆様、並びに関係各位にとりまして、ご多幸ある年となりますよう祈念し、新年のご挨拶と致します。

平成二十六年 年初



公益社団法人
沖縄県工業連合会会長
湧川 昌秀

謹賀新年

公益社団法人 沖縄県工業連合会

- | | | | | | |
|---------------|--------|------------------|-----|--------|------------------|
| 会 長 | 湧川昌秀 | 沖縄ガス(株) | 理 事 | 大城 勤 | 忠孝酒造(株) |
| 副 会 長 | 西 村 聰 | 琉球セメント(株) | " | 下地清吉 | (有)沖縄長生業草本社 |
| " | 新垣昌光 | オリオンビール(株) | " | 屋嘉比康則 | 昭和製紙(株) |
| " | 仲田龍男 | オキコ(株) | " | 大坪慎治 | 沖縄県衣類縫製品工業組合 |
| " | 古波津 昇 | 拓南製鐵(株) | " | 竹内一郎 | 沖縄製粉(株) |
| " | 呉屋守章 | 金秀アルミ工業(株) | " | 山城 宝 | 沖縄明治乳業(株) |
| " | 知念克明 | 沖縄電力(株) | " | 比嘉昌治 | (株)沖縄ホーム |
| 専務局長兼
専務理事 | 桑江 修 | (公社)沖縄県工業連合会 | " | 岸本 力 | 沖水化成(株) |
| 理 事 | 佐久眞 章 | 沖縄プラント工業(株) | " | 大江聖彌 | 琉球ガラス工芸協業組合 |
| " | 具志堅健秀 | (株)ぐしけん | " | 美里義雅 | 金秀バイオ(株) |
| " | 佐久本 武 | 瑞泉酒造(株) | " | 高橋俊夫 | 沖縄コカ・コーラボトリング(株) |
| " | 與那覇 正俊 | 丸正印刷(株) | " | 平良 正諭輝 | 沖縄県酒造組合 |
| " | 前里健一 | (株)まえさと | " | 島袋正也 | (株)久米島の久米仙 |
| " | 長濱徳勝 | 沖縄ハム総合食品(株) | " | 吉長盛信 | 沖縄ガルバ(株) |
| " | 石川信夫 | (株)石川酒造場 | " | 津波古義秀 | (株)技建 |
| " | 外間政春 | 光文堂コミュニケーションズ(株) | " | 上地 哲 | (株)仲善 |
| " | 座間味 勲 | (株)ざまみダンボール | " | 仲本幸平 | 沖縄テクノクリート(株) |
| " | 島袋常栄 | 壺屋陶器事業協同組合 | " | 崎浜敏夫 | 金秀鉄工(株) |
| " | 新城 博 | (株)トリム | " | 比嘉 希 | 大和コンクリート工業(株) |
| " | 知念律子 | (株)ファッションキャンディ | " | 仲里伸二郎 | 沖縄県工業連合会青年部 |
| " | 澤岷カズ子 | (株)お菓子のポルシェ | 監 事 | 濱門 稔 | エコインテック(株) |
| " | 眞志喜 実 | 沖縄鑄鉄工業(株) | " | 仲村朝男 | (株)名護鉄工所 |



新うちな一むん紹介

金秀アルミ工業株式会社

●本社／西原町字掛保久217番地
 管理本部／TEL.098-835-8100
 鋼建工事業部／TEL.098-835-8101
 軽金事業部／TEL.098-835-8102



「光のカーテン」商品化間近に

建築企画を手がける未来企画と金秀アルミ工業、住化アクリル販売との共同開発製品「光のカーテン」が間もなく商品化となります。

「光のカーテン」は外から室内が見えないマジックミラーの原理を利用した窓であり、内側から外を見ることができませんが、外側からは夜中でも中を見透すことができないというものです。

従来のマジックミラーは、日中は役目を果たすものの、室内外の明るさが変わる夜間では外から見られるということが難点といわれています。その不便を解消するため、LED（発光ダイオード）を導光板端部に取り付けて発光させることにより、昼間はもちろん、夜間も室内が見えず、中からは外の景色が楽しめるまったく新しい製品を開発しています。

光を通しやすいものの熱に弱く燃えやすいためこれまで建築材料には適さないといわれてきたアクリル板をガラスで挟むことにより、建築材料としての使用を可能にしました。この技術は現在特許出願中です。

製造を担当した金秀アルミ工業の呉屋良和常務は、「可視性の調整のために、何度も試作品を製作し、テストを繰り返しています」と話します。

遮光効果も高く、人体に有害な紫外線をカットし、カーテンやブラインドの代わりにもなります。小さな子供の転落防止や防犯効果も期待され、住宅やオフィスビルにも導入が検討されています。

また、約250色のカラーバリエーションがあり、グラデーションのように左右に開いたり、ブラインドのように上下させたり、建築物のコンセプトに合わせたパターンも実現しようと考えています。ショッピングモールやリゾートホテルにも売り込みを予定している他、国際特許も出願中で、海外市場への進出も視野に入れているといえます。

2013年度の産業まつりでは最優秀優良県知事賞を、発明くふう展でも県知事賞最優秀賞を受賞し、県内産業界における注目度も高まっており、今年春頃に予定されている受注開始が待たれています。



設置も時間がかかることなく容易でシンプルな外観ではあるが、微妙な配色の設定で景観を損ねることなくプライバシーが守られる。



取材に応じてくださった
 金秀アルミ工業株式会社
 呉屋良和常務

沖縄県工業連合会創立60周年記念講演 メイド・イン・オキナワ 逆襲のシナリオ

平成25年12月2日(月) 沖縄都ホテル



講演では日本を取り巻く経済事情や地域・開発現場での成功事例など、興味深い内容に県内各界からの出席者も熱心に聞き入っていました。

沖縄県工業連合会創立60周年を記念し、沖縄都ホテルにて講演会が開かれました。講師を務められたのは、日本放送協会(NHK)制作局経済・社会情報番組部専任ディレクター兼解説委員の片岡利文氏。ディレクター兼務の解説委員に就任したのはNHK史上初であり、現在、ものづくりや中国に関する「NHKスペシャル」、「クローズアップ現代」などの番組ディレクターとして関わる他、解説委員としてスタジオ出演もされています。

平成24年、25年と2シーズンに渡り放送されたNHKスペシャル「シリウス」にちなんで、「メイド・イン・オキナワ 逆襲のシナリオ」と題された今回の講演では、沖縄県が目指すべきものや県内企業に求められていること等が主なテーマとなっています。片岡氏は全国各地で講演を行っています。片岡氏がタイトルに県名を加えたのは今回が初ということで、片岡氏自身も沖縄という土地の持つ可能性と県内企業の動向について大きく関心を持っているとのことでした。

約80分の講演では、「なぜ日本メーカーはタブレット型端末で遅れを取ったのか」、「笠子トンネル事故発生を呼び起こした要因」、「イノベーターを生み出す難しさ」等、ディレクターとして数多くの企業を取材してきた片岡氏の目線から見て感じたことや知られざる製

品開発の舞台裏について貴重な話を聞くことができました。

また、中小企業に必要とされることとして、日本企業特有の「待ち」の姿勢から脱却し構想力の発揮、技術と技術を結びつけて新しいものを創り上げるプロデューサーの存在等が挙げられ、参加した多くの工連関係者にとっても大きな収穫となったようでした。

片岡氏は「日本の企業は他先進国と比較して過剰に保守的になる特徴があり、現状維持という発想が創造力を邪魔している。能力の高い若者の中には、大手企業を退職し自らベンチャー企業を立ち上げる者も多く、優秀な人材をうまくプロデューサーすることができないために企業が衰退することもありうる」と、国内情勢に対して警鐘を鳴らし、また一方では、現在注目しているという大阪府の企業を例に挙げ、これまでにない手法で時代を牽引するリーダーたちの存在も紹介していました。

「土地の利と技術力を生かし、アジア各国と日本を結ぶハブとしての役割を果たしつつ、独自の産業を広げることができる地」と、沖縄に対しても大きく期待を寄せているとのこと、講演会が終了した翌日には、情報収集を兼ねて工連担当者とともに県内各企業を訪問されました。片岡氏の豊富な知識と経験に基づいた意見は、出迎えた企業にとっても大いに参考となったようで、60周年記念に相応しい濃密かつ貴重な企画となりました。

平成25年度

工連・JIS協会合同忘年会

沖縄県工業連合会と沖縄県JIS協会の合同忘年会在12月2日(月)那覇市の沖縄都ホテルで開催されました。多くの会員や国、県、流通業界、消費者団体等の関係者が親睦を深めることを目的として毎年開かれているもので、今年もたいへん盛況となっております。

ステージでは沖縄県工業連合会・湧川昌秀会長、沖縄県JIS協会・古波津昇会長がそれぞれ主催者としてあいさつし、沖縄県商工会連合会の照屋義実会長による乾杯の音頭で忘年会の幕が開けられると、25年度に国や県から表彰を受けた個人・企業への花束贈呈や会員企業による寄贈の豪華景品が当たる抽選会も行われ、会場の熱気も大いに高まりました。工連60周年記念講演で壇上に立たれたNHKディレクター兼解説委員片岡利文氏も参加するなど、今年もゲストも多く訪れ、会話も弾んでいました。



主催者挨拶
沖縄県工業連合会 湧川昌秀会長



主催者挨拶
沖縄県JIS協会 古波津昇会長



乾杯の挨拶
沖縄県商工会連合会 照屋義実会長



会員企業、関係者から数多く景品のご提供があり「抽選会」も盛況でした。



平成25年度 各種表彰受賞者の皆さん

受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
平成25年度 沖縄県功労者表彰	土肥 健一	(株)サン食品 社長	沖縄県
経営者賞	大城 正治	リウコン(株) 社長	QCサークル
第27回沖縄県調理技能競技大会 日本料理部門(会席の部) 金賞	金城 善之	沖縄都ホテル	沖縄県職業能力開発協会
内閣府沖縄総合事務局長表彰 (平成25年度工業標準化功労者賞)	古波津 昇	沖縄県JIS協会 会長	内閣府沖縄総合事務局

個人表彰

受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
第42回沖縄県発明くふう展 県知事優秀賞(特許・実用新案の部)	新垣 一明	東洋コンクリート(株) 社長	沖縄県
健康づくり優良事業所	新垣 一明	東洋コンクリート(株) 社長	南部保健所
第42回沖縄県発明くふう展 発明協会会長賞(特許・実用新案の部)	大城 正治	リウコン(株) 社長	(一社)沖縄県発明協会
安全大賞	大城 正治	リウコン(株) 社長	(一社)コンクリートボールパイル協会

企業表彰

景品寄贈企業

合同忘年会を開催するにあたり、右記企業各社に商品などの寄贈を賜りました。誠に有り難う御座いました。

琉球セメント(株)
フォーモストブルーシール(株)
新城工作所
(株)オウ・ティ・ケイ
オリオンビール(株)
金秀鉄工(株)
(株)海邦商事
沖縄県酒造協同組合
(株)名護鉄工所
沖縄ガス(株)
(株)ざまみダンボール
沖縄テクノクリート(株)
沖縄コカ・コーラボトリング(株)
(株)JAL JTAセールス
拓南製鐵(株)
全日本空輸(株) 沖縄支店
(株)沖縄県物産公社
(株)沖縄ポッカコーポレーション
リウコン(株)
東洋コンクリート(株)
(株)沖電工
沖縄明治乳業(株)
金秀アルミ工業(株)
沖縄ハム総合食品(株)
(株)沖縄ホーム

(株)近鉄ホテルシステムズ 沖縄都ホテル
金秀鋼材(株)
沖縄県酒造組合
拓南伸線(株)
(株)技建
琉球放送(株)
丸正印刷(株)
(株)サン食品
沖縄ツーリスト(株)
ヘリオス酒造(株)
(株)お菓子のポルシェ
オキコ(株)
(有)モダン広告
光文堂コミュニケーションズ(株)
(株)久米島の久米仙
沖電水工事(株)
沖縄テレビ放送(株)
(資)沖縄関ヶ原石材
(株)アドスタッフ博報堂
瑞穂酒造(株)
(株)沖縄バヤリース
琉球新報社
(株)沖縄トータルサービス
沖縄プラント工業(株)
(株)トミコン

(有)ジュネ
瑞泉酒造(株)
(株)EM研究機構
久米仙酒造(株)
沖縄電力(株)
(株)オカノ
(株)赤マルソウ
(株)日進商会
大同火災海上保険(株)
(株)おきさん
(株)沖縄産業振興センター
(株)シユアナチュラル
(有)沖縄長生薬草本社
新報トラスト(株)
(株)スカイ企画
(株)サンデン企画
(株)エムズ
協和工業(株)
(株)沖縄銀行
ホテル日航那覇グランドキャッスル
(株)新垣通商
沖水化成(株)
久米島海洋深層水開発(株)
(株)まえさと



Orion YCHIBAN-SAKURA

今年も、うまさ満開。

2014 季節限定 限定ビール

麦芽100%アロマホップが香る。 豊かな味わい。

Orion 麦芽100%【生ビール】

大城クラウディア

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。 のんだあとにはリサイクル

ワイズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー

沖縄ガス

沖縄ガス本社 那覇市西3-13-2

環境にもやさしい ガスで節電!!

沖縄ガス ショールーム ゆへくる

YOU-KURU

☎(098)863-7750 [ショールーム] 那覇市西 3-13-2

☎(098)863-7730 (代表) 沖縄ガス

オキハム の優良県産品シリーズ



沖繩ハム総合食品株式会社

〒904-0301 沖縄県中頭郡読谷村座喜味 2822-3
TEL:098-958-4330 FAX:098-958-4333

旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申しあげます
本年もご愛顧の程お願い申し上げます

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



人の手のぬくもりが
原点です。

県産品を心で包むお手伝い。

株式会社 しましんグループ

工場 TEL.098-992-1616 糸満市西崎町4丁目7番 FAX.098-992-1155

旧年中は格別のお引き立てを賜り
有り難うございました。
本年も琉球泡盛 残波を
宜しくお願ひ申し上げます。

平成二十六年新春

謹賀新年

有限会社 比嘉酒造
URL <http://www.zanpa.co.jp>

残波ホワイト 30度 720ml
残波ブラック 30度 720ml
残波プレミアム 30度 720ml

Fresh! ANMAR 判別し食感! カロリーオフ

フコイダンゼリー 超願寿
フコイダン+7種の素材

フコイダン、ハナヒラタケ、乳酸菌、秋・春・紫のトリプルワコン、米黒酢、シークワーサーなど元気生活をサポートする成分を賢くに配合しました。

NEW ちゃーがんじゅう 超願寿 ¥315 (税込)

◆通販サイト「アンマショップ」にて発売中◆ <http://www.anmar.co.jp>

- オキボール ●沖縄ハイボール ●照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ●ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイル
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ●テールアルメス工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品的设计・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて

沖縄テクノグリー株式会社

代表取締役社長 仲本幸文

本社 / 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
海邦工場 / 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512

大切にします。沖縄の味!

沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聡
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL (098) 868-3141 FAX (098) 868-8279

<http://www.okifun.com>

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL.(098)877-5274

RYUKYU AWAMORI KUMIEJIMA'S KUMESEN

久米島の
久米仙

光がてらすその先へ

舞久米島の久米仙
本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町宇江城2157 TEL098-985-2276(代)
営業本部/沖縄県浦添市港川12-3-3 TEL098-878-2276(代) www.k-kumesen.co.jp
お酒は20歳になってから、妊婦の飲酒はお控え下さい。お酒は適量に。

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術

株式会社 技建

代表取締役社長 津波 古 義 秀

日本工業規格表 示認証工場
ISO 9001.140001 認証取得

本社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX098-945-1181



卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 **沖縄ホーム**

代表取締役社長 比嘉 昌治



ダンボール・パッケージの
総合紙器

(098) 992-1111

ハイウェイ沖縄

株式会社 **なかむら食品**

伝統を受け継ぐ、うちな豆腐。

〒901-1515 沖縄県南城市知念字山里926
TEL. **098-948-2228**
www.nakamuresyokuhin.co.jp

なかむら食品 検索

沖縄の畜産を大事に!
新鮮・安全・良質な飼料販売
肉豚精算及び精肉加工・販売・不動産賃貸

協 **琉球協同飼料株式会社**

代表取締役会長 桑江良一

本社 沖縄県南風原町津嘉山1471-3
TEL (098) 889-0500 FAX (098) 889-7020

信頼で創るより良い環境
電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工



沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聰

本社 / 沖縄県那覇市前島2丁目1番10号 TEL (098) 867-6311(代) FAX (098) 868-3282(代)
百原営業所 / 沖縄県西原町字翁長240-1 TEL (098) 945-4742 FAX (098) 945-4728

おかげさまで創業40周年

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する

沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定 マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号



代表取締役 眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL (098) 945-5453 FAX (098) 945-5924

ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役社長 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL (098) 982-1371 FAX (098) 921-2336

謹賀新年



(株) **ファッションキャンディ**

http://www.fashioncandy.co.jp/

SUN
PRINTING CO., LTD.

代表取締役社長 宮城 剛

有限会社 **サン印刷**

〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577
TEL 098-889-3679 FAX 098-889-4282

沖繩コカ・コーラボトリング株式会社
 代表取締役 長 高 橋 俊 夫
 〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目十四番一號
 電話 (〇九八) 八七五二二五 代表
 FAX (〇九八) 八七九四四七

琉球銀行
 頭取 金城 棟 啓
 〒901-2555 沖縄県那覇市久茂地二丁目一十一番一號
 電話 (〇九八) 八六六一二二 (大代表)

株式会社 おきさん
 代表取締役 長 富 永 進
 〒904-0202 嘉手納町字屋敷一〇二二
 電話 (〇九八) 九五六一二三八
 FAX (〇九八) 九五六一八八三

沖繩ハム総合食品株式会社
 代表取締役 長 濱 徳 勝
 〒904-0202 統合村字座喜味二八二二三
 電話 (〇九八) 九五八一四三三〇

沖繩銀行
 頭取 玉 城 義 昭
 〒901-2555 沖縄県那覇市久茂地三丁目十一番一號
 電話 (〇九八) 八六七一二二 (大代表)

株式会社 青い海
 代表取締役 長 又 吉 元 栄
 〒901-2602 糸満市西崎町四一五一四
 電話 (〇九八) 九九二一一四〇

沖繩電力株式会社
 代表取締役 長 大 嶺 満
 〒901-2602 沖縄県浦添市牧港五丁目二番一號
 電話 (〇九八) 八七七一三四一
 FAX (〇九八) 八七七一三四九四

株式会社 お菓子のホルシエ
 代表取締役 長 澤 岬 カ ズ 子
 〒904-0202 読谷村字座喜味六五七一一
 電話 (〇九八) 九五八一七三三三
 FAX (〇九八) 九五八一七三三〇

株式会社 オカノ
 代表取締役 長 與 儀 盛 輝
 〒904-0202 那覇市安謝一丁目三番八号
 電話 (〇九八) 八八八一〇二九三
 FAX (〇九八) 八八六一六九六六

リウココ株式会社
 代表取締役 長 大 城 正 治
 〒901-2555 西原町字小那覇二一八七番地
 電話 (〇九八) 九五五二二七七八
 FAX (〇九八) 九五五二二七七八

株式会社 沖繩トータルサービス
 代表取締役 長 大 城 守 広
 〒901-0305 糸満市西崎町四丁目一七一十九
 電話 (〇九八) 九九四一九九四八
 FAX (〇九八) 九九四一九九八三

拓南製鐵株式会社
 代表取締役 長 古 波 津 清 昇
 〒901-2134 那覇市字豊川三丁目二番地四
 電話 (〇九八) 八三二一〇五八八

拓南製鐵株式会社
 代表取締役 長 古 波 津 昇
 〒901-2134 那覇市字豊川三丁目二番地四
 電話 (〇九八) 八三二一〇五八八

長嶺電機株式会社
 代表取締役 長 長 嶺 義 貢
 〒901-2134 沖縄県浦添市港川五二二二二八
 電話 (〇九八) 八七八一二二二二
 FAX (〇九八) 八七八一七三三三

琉球セメント株式会社
 代表取締役 長 西 村 聡
 〒901-2123 浦添市港川一丁目二番地一
 電話 (〇九八) 八七〇一〇八〇
 FAX (〇九八) 八七〇一〇八三

琉球ガラス工芸協業組合
 代表理事 大 江 聖 彌
 〒901-2405 糸満市字福地一六九番地
 電話 (〇九八) 九九七二四七八四
 FAX (〇九八) 九九七二四九四四

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長 比 嘉 昌 治
 〒901-2405 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 (〇九八) 八九五二三三一

琉球協同飼料株式会社
 代表取締役 長 桑 江 良 一



心をこめて作られた県産品を 大切に包み込む

株式会社ざまみダンボール
代表取締役 座間 勲



**お客様が必要なときに
必要な製品を適正価格で**

皆様が手にする食品、飲料品、青果物など、様々な商品を生産者から皆様の手元まで安全に保護してお届けするための役割を果たしているのがダンボールケースです。

昭和34年の創業以来、「お客様が必要なおきに必要な製品を適正な価格でお届けする」という企業理念の基に、お客様が「ざまみダンボールの製品に何を望んでいるのか、必要な量はいくらかなのか、価格は適正なのか」を常に考え、お客様と向き合った販売姿勢で臨んでおり、またそのことが実行できるよう納期、納品量を厳守する製造体制を整えており、そのことが創業以来続く信頼を支えていると思います。

クライアントの多くは県内企業で、数十年に渡る長期間の取引も珍しくはないといえます。強固な信頼関係を築ける理由として、座間味勲社長は製品に対する徹底的なこだわりを挙げています。

「梱包は商品ができて消費者の手に届くまでの最終ライン。お客様の大切な商品を包むものですから、製造に関わった方々の努力を無にするようなことは許されません。日々の整備はもちろん、小さな印刷のズレまでしっかりとチェックしています」。

ざまみダンボールでは輸入紙を使用せず、国産の素材に限っています。

国産と比較すれば輸入紙のほうが安価ではありますが、「野菜や果物に直接触れるダンボールケースに使用したダンボール



ニヌファブシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということ、「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味も持つ神話のことばです。



商品によって形状の異なるダンボールを複数の機器で製造
印刷等は機械を使って行うものの最終的には必ず人間の目でチェックします。

株式会社ざまみダンボール

業 種 ダンボール箱の製造販売
文房具・事務機・事務用品の販売
設 立 昭和34年12月4日
代 表 者 代表取締役 座間味 勲
住所・連絡先 糸満市西崎町4-7
098-992-1717 098-992-0867
オフィシャル サ イ ト <http://www.zamami.co.jp/>

**自ら考えながら
作業できる環境作りを**

目先の利益を追わずにひたすら信用を第一とする座間味社長の信念は、会社全体

原紙に、もし健康を害するような薬剤が混入し、その内容物に悪影響を及ぼす可能性があることを考えると、安いからといって製造過程や管理状況を私が確認できない輸入紙を使用することは出来ません。」

平成15年にはISOを取得し、独自の基準に加えて、厳しく制定された認定制度、監査制度によって製品の完成度を上げるための努力を今なお変わることなく続けています。

に浸透しています。

「製品の善し悪しは会社の社員の考えかたひとつで決まる」というのが座間味社長の考えであり、高価な素材に高機能の機器を使用して作ったものであっても、扱う社員の考えが甘ければミスを見落としてしまうこともあるといいます。

社員教育システムに特別なものはないものの、工場は常に活気が満ちており、約150人の社員はそれぞれの確に機械を操作しています。

「会社はひとつの社会。互いに切磋し合い、磨き合いながら、よいものを作っていくことが大事です」と座間味社長は語ります。

「リーダーを育成するためのセミナーや教材なども多くありますが、社員にはあまり積極的に勧めていません。リーダーとは、与えられた状況下において適正を持つ

者、また育ててきた環境や人生における経験によってリーダーシップが生まれるもので、そういった人物は自然と前に出されるものであり、人工的に作り出すものではないと考えるからです。

イノベーションリーダー育成が重視される現代において独特の人材育成ですが、社内には不要な上下関係もなく、ひとりひとりが自分の仕事に誇りを持って取り組んでいます。

また、障がい者雇用にも積極的で、現在知的障がい者3名、聴覚障がい者3名、身体障がい者2名を雇用しています。

「印刷の最終工程で目視チェックを行っているスタッフは聴覚に障がいを持っていますが、それだけに感覚が鋭く、健常者と同等かあるいはそれ以上に素早く確実に仕事をこなしてくれます。障がいとはなにを

持つて障がいというのか。ある一点では不自由であっても、別の角度から見れば驚くような集中力を見せることがあり、その仕事においては適任といえることもあるのです」

価値観を共有するため、週に一度手話通訳者を呼んでミーティングしていますが、基本的には特別扱いすることなくごく普通に接しているといいます。2010年には功績が認められ、第3回タイムス地域貢献賞も受賞。障がい者雇用ばかりでなく、子供たちを対象にした社会貢献活動にも力を入れています。

「いづれなんらかの産業に関わる子供たちを育てることは未来を育てること。彼らが作った商品を我々の製品で包む日があればいいですね」と座間味社長は目を細めていました。

沖縄県工業連合会(技術開発部会)

県工業技術センター新機器の見学並びに意見交換会

平成25年12月13日(金) 沖縄県工業技術センター



地域技術の先導的研究機関として、沖縄県の自立的経済発展を担い、製造業の技術支援や先端的研究に取り組むことを目的に県工業技術センターが建設され、平成10年に現在のうるま市新城湾新港地区トロピカルテクノパーク内にオープンして以来開かれた研究機関として地域技術を牽引してきました。

科学技術の進化はそのスピードを増しており、県内企業の技術に対するニーズもより多様化しています。様々な課題、ニーズに応えるために取り入れられた最新機器等を見学し、今後の進化に活かすための情報・意見交換会が12月13日県内各企業の代表者・担当者を招いて行われました。

会は沖縄県工業連合会技術開発部会玉寄将副部会長の挨拶の後、工業技術センター内を見学しました。

平成24年度補助事業地域新産業創出基盤強化事業により、沖縄地域における成長産業の育成や新産業の創出を図るべく、地域の中核的な試験研究機関の基盤強化を目的に、最新機器が工業技術センターに整備されています。水分活性を測定するポータブル水分活性測定装置や粉末の粒度(粒子の大きさ)と均一性を測定する乾式粒度分布測定装置など、様々な試験検査装置、農作物などの乾燥に

使用されるドラムドライヤーや高速度による微粉砕が可能なアトマイザー、直接通電することで、食品の自己発熱により加熱殺菌できるジュール殺菌装置などの試験加工装置など、専門家によって選定された10機器が、それぞれの用途に応じて、試験研究や検査に活かされています。参加者はセンターの概要や機器の特徴、仕様に関する説明に耳を傾け、デジタルカメラやスマートフォンで写真を撮ったりと、最新機器に興味を示していました。

見学終了後は玉寄副部会長の進行による情報・意見交換の場が設けられ、施設や機器に関する質問やセンターへの要望、今後の連携についてディスカッションが行われました。

琉球セメント株式会社山川健品質管理室室長や沖縄生麺協同組合砂川純宣事務局長、オキコ株式会社渡久山秀治事業部長ほか、県内企業の代表者・担当者が意見を交わし、積極的な活用を検討しています。

沖縄県工業技術センターの與座範弘技術支援班長は「最新設備を有効活用することで、県内産業の活性化につながる」と語り、各企業への導入を促すとともに、センターとして製品の製造・開発への協力を惜しまないことをあらためて宣言しました。

「学校と産業界の交流事業」活動報告!

沖縄県工業連合会では平成17年度より、会員の企業経営者や技術者等を教育現場に派遣して産業講話を行う「学校と産業界の交流事業」を行っています。食品、リサイクル、鉄鋼・金属、エネルギー、窯業、縫製、関節装具、琉球ガラス、弁理士等の事業を営む16社から社長や役員、技術者等が講師登録しています。これまでの9年間で小中学校、高校、大学、高专、職業訓練校など合計104校他で延べ14,750名の児童生徒・学生・保護者・先生を対象に講話を行い「ものづくりの楽しさ、働くことの大切さ」を伝えています。

年度別実績

- 平成17年度 4校 190名
- 平成18年度 8校 1,000名
- 平成19年度 21校 3,971名
- 平成20年度 14校 2,068名
- 平成21年度 19校 2,505名
- 平成22年度 4校 353名
- 平成23年度 5校 941名
- 平成24年度 8校 1,219名・県工業教育研究会100名
- 平成25年度 19校 2,303名・県工業教育研究会100名

今年度もこれまでに小学校8校、中学校5校、小中学校2校、高等学校3校、職業能力開発大学校等で産業講話を行いました。下記に活動実績を報告します。

実施日	学校・組織名	講師(敬称略)
5月16日(木)	沖縄県工業教育研究会	(株)トリム 会長 新城 博
5月28日(火)	八重瀬町立具志頭中学校	(株)なかむら食品 社長 仲村 正雄
6月12日(水)	浦添市立前田小学校	オキコ(株) 事業部長 渡久山秀治
6月14日(金)	県立首里高等学校	沖縄県衣類縫製品工業組合 事務局長 伊良波 勲
6月17日(月)	那覇市立城北中学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
6月27日(木)	那覇市立曙小学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
6月27日(木)	浦添市立前田小学校	(株)ぬちまーす 社長 高安 正勝
7月1日(月)	うるま市立あげな小学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
7月3日(水)	うるま市立南原小学校	(株)トリム 会長 新城 博
7月4日(木)	沖縄市立泡瀬小学校	拓南商事(株) 専務 川上 哲史
7月5日(金)	東村立高江小中学校	オリオンビール(株) 製造部次長 島袋 勝
7月5日(金)	豊見城市立長嶺中学校	(株)赤マルソウ 社長 座間味 亮
7月10日(水)	名護市立東江小学校	ヘリオス酒造(株) 製造本部長 玉城 英哉
7月10日(水)	那覇市立神原中学校	沖縄ガス(株) 新エネルギー開発部長 大城 邦夫
7月16日(火)	県立美里工業高等学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
9月17日(火)	糸満市立三和中学校	(株)なかむら食品 社長 仲村 正雄
9月24日(火)	沖縄職業能力開発大学校	(株)トリム 会長 新城 博
10月1日(火)	県立八重山商工高等学校定時制	(株)あざみ屋 社長 新 賢次
10月3日(木)	豊見城市立豊崎小学校	(株)赤マルソウ 社長 座間味 亮
10月10日(木)	座間味村立慶留間小中学校	(有)沖縄長生薬草本社 部長 新垣 良夫
10月23日(水)	うるま市立南原小学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
11月14日(木)	宜野湾市立宜野湾小学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保

【講師をお引き上げいただきました皆様には心から感謝いたします。ありがとうございました。】



受講した子供達の声(一部)

講話から学んだことは、自分の好きな事をする事です。好きなことならやろうと思えるし、やろうと思えば仕事を覚えるのがとても早いと分かりました。僕も夢をかなえて、誰かのためにがんばる仕事につきたいです。私はあまり将来のことを考えていなかったけれど、これからは少しずつ考えてみたいです。これから将来を決める私達にとってとてもためになるお話でした。「好きなことを続ければチャンスが来る」ということがとても胸に残りました。夢については、少しずつでも、努力をしていくことが大切だということを知ることができました。失敗を恐れず、色々なことにチャレンジして夢をかなえる努力をしていきたいと思えます。

※「学校と産業界の交流事業」では講師を会員の皆様から随時募集しています。経営者等の自薦又は適任者の推薦をお願いいたします。

事務局 TEL:098-859-6191 担当：仲間

故サムエル・C・オグレスビー氏 第47回追悼式

第二次世界大戦終焉後の沖縄に米国民政府職員として赴任し、沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くして現在までの産業の礎を作り上げた「沖縄産業の恩人」故サムエル・C・オグレスビー氏を偲ぶ追悼式が、氏の命日である12月20日(金)に那覇市泊の国際墓地で行われました。

1968(昭和43)年に沖縄財界人の浄財によって建立された顕彰墓碑の前に多くの人々が手を合わせ、賛美歌を斉唱して、オグレスビー氏の貢献にあらためて感謝するとともにその死を悼みました。

那覇バプテスト協会の国吉守氏は「オグレスビー氏の功績が今なお色あせることなく現代に語り継がれているのは県内産業に関わる方々のおかげ」と感謝を述べ、工業連合会湧川昌秀会長も、「オグレスビー氏が築いた産業の基盤を守り、さらなる進化を遂げて次世代に伝えていくことが我々の務め」と今後の商業、産業の発展を誓いました。



沖縄産業の恩人
サムエル・C・オグレスビー
(1911～1966)



参列者全員の賛美歌斉唱と追悼の祈りをもって式が厳かに執り行われました。



湧川昌秀会長をはじめ、参列者より墓前に献花が手向けられました。



那覇バプテスト教会
国吉守牧師



挨拶を述べる
湧川昌秀会長



オグレスビー顕彰墓碑

サムエル・C・オグレスビー氏は、1911(明治44)年10月25日、アメリカ合衆国バージニア州で生まれ、1933(昭和8)年、メリーランド大学博士課程を卒業します。

1942(昭和17)年米陸軍に従軍し、1945(昭和20)年3月には、米陸軍政府将校として来沖し、その後エール大学で極東問題と日本語の研究を積みました。

同氏は、1950(昭和25)年3月、第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くされました。沖縄勤務の16年間、琉球工業連合会(現沖縄県工業連合会)のよきアドバイザーとして深くかかわり多くの産業を育てました。

製糖、味噌醤油、食油、ビール、セメント、鉄筋、合板、菓子類に至る各製造業の90%は同氏の後援・指導を受けました。

1963(昭和38)年5月21日に琉球工業連合会は創立10周年を迎え、これを記念して、会員の芳志を募り、オグレスビー氏の胸像を制作することを決定しました。

やがて、胸像が完成し、翌年1964(昭和39)年12月2日、贈呈式と祝賀会が行われました。

その2年後、1966(昭和41)年12月20日、オグレスビー氏が逝去。

「沖縄に埋葬してほしい」との遺言により、泊国際墓地に埋葬されています。

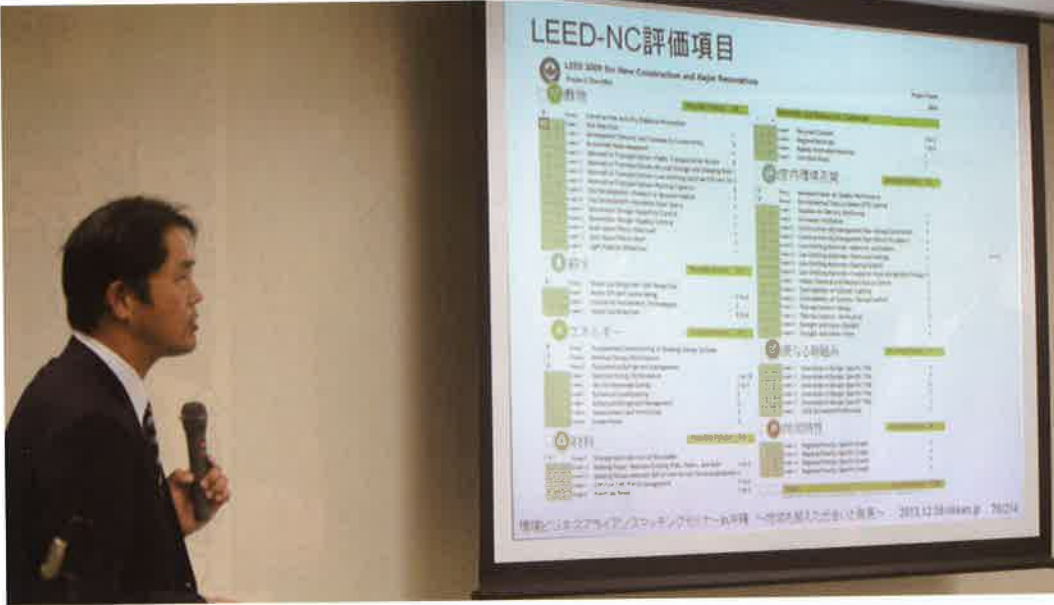
1967(昭和42)年オグレスビー氏の長年の功績を記念して、「オグレスビー氏産業開発基金」が設立されました。

同基金では毎年、沖縄の工業発展に著しく功績のあった方に「オグレスビー氏工業功労者賞」の授与と工業高校・沖縄高専の学生に奨学金を支給しています。

平成25年度

環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー in 沖縄

平成25年12月9日(月) 那覇第2地方合同庁舎1号館



先進的な取り組みで環境ビジネスをリードする企業を招いてのプレゼンテーションでは、参加者も熱心に聞き入っていました。



環境破壊が取りざたされる昨今、企業における環境問題への責任と取り組みについて、国内ばかりでなく、世界的に注目されています。

環境改善・保全活動は地域の垣根を越えて必要なものであり、新たな出会いと発見の場として、環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー運営協議会(東北経済産業局、一般社団法人環境経営支援機構、特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター、内閣府沖縄総合事務局等)が発足。環境ビジネスに力を入れている県内外の企業を招いてのプレゼンテーションが行われました。

プレゼンターとして参加した企業は、有限会社マルヨ(本部町/発砲工法)、ハウステンボス・技術センター株式会社(長崎県/多機能塗料・ペンタガードとアクション25)、クリーントックス・ジャパン株式会社(神戸市/合成繊維・合成ゴムリサイクル事業)、株式会社トワード(佐賀県/エコドライブ教育システムECOSAM(エコーサム)、株式会社アイ・シー・エス(宜野湾市/エアコン省電力ユニットFORCE)、株式会社アミノ(鹿児島県/アミノ)の6社。自社製品の特徴や導入によって期待される利点、利用方法、価格、条件等についてそれぞれ与えられた時間内にPRを行いました。質疑応答の時間には、参加者による具体的な質問にプレゼンターが丁寧に答え、今後の

環境問題への取り組みについて活発な意見が交わされました。

環境ビジネスという分野において、企業同士が連携することで、より大きなビジネスチャンスが生まれることを目的に行われた今回のセミナーでは、プレゼンテーション実施の他、各社の商品展示も行われており、参加者が資料とともに陳列された商品を一品一品見て回る姿が見られました。

また、別室には商談会場も設けられ、商品に興味を持った企業とプレゼンテーション企業とが新しいアライアンス・パートナーを求め、商談を交わしていました。

新たなビジネスチャンス獲得、また環境ビジネスに関する情報交換、企業間交流にも役立ち、アライアンス展開を目指すプレゼンター企業には大きな進歩といえる会になりました。

また、特別講演として、株式会社日建設計牛尾智秋氏(大阪市)による「日米の環境評価手法(CASBEM/LEED)の概要とLEED評価例(沖縄科学技術大学院大学)」、株式会社さがみはら産業創造センター(神奈川県前田圭一郎氏)による「BSCビジネスマッチングプラットフォーム」技術情報・市場情報の流通促進と技術開発支援事業の提案」も行われ、最新の環境ビジネスの概要とその実施例について知ることができ、参加企業にとっても大きな収穫となりました。

平成25年度 オグレスビー氏奨学金交付式

平成25年12月10日(火)

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団



沖縄県国際交流人材育成財団大城理事長から安里君ら2名へ奨学金が交付されました。



当会を代表して、桑江修専務理事よりオグレスビー氏奨学金の説明・贈呈が行われた。



八重山商工高等学校
伊集満枝教諭



未来工科高等学校
田仲康成校長



平成25年度オグレスビー氏
奨学金交付式

沖縄県の産業発展に大きく貢献された故サムエル・C・オグレスビー氏の功績を称え設立された「オグレスビー氏奨学金制度」とは、次世代を担う工業人育成を目的に沖縄県内の高等学校工業関係の学科に在学中の生徒を対象に毎年奨学金を交付しております。

昭和50年度(1975年度)から現在までに、同基金により奨学生として採用された生徒は98名にのぼり、卒業後は各分野で活躍しています。

今年度は未来工科高等学校自動車工学科第3学年安里優一くん、八重山商工高等学校機械電気科第3学年玉那覇弘紀くんの2名が選出され、宜野湾市の公益財団法人国際交流・人材育成財団にて交付式が執り行われました。

沖縄県国際交流人材育成財団大城理事長は、今年度の奨学生2名について、「奨学生としてふさわしい優秀な学生と聞いており、沖縄産業の未来に希望を与える存在となることを期待しています」と述べ、財団へ贈呈された奨学金目録を奨学生代表の未来工科高等学校安里くん handed over.

当会を代表して、沖縄県工業連合会桑江修専務理事よりあいさつがあり、戦後の荒廃した時代に製糖工場やパイン工場、セメント、鉄筋等製造加工業の産業政策を実施、沖縄産業の礎を築き上げた沖縄産業の恩人といわれるオグレスビー氏の功績が紹介され

ました。オグレスビー氏の強い信念には高校生にも影響を受けたようで、安里くんは「奨学生に選んでいただきたいへん光栄です。奨学金を無駄にしないためにも勉学に励み、高校卒業後は九州の大学へ進学してより技術と知識を蓄え、将来は自動車のプロフェッショナルとなつて沖縄産業に貢献したい」と語りました。

諸事情で欠席となつた八重山商工高等学校の玉那覇弘紀くんの手紙は同校伊集満枝教諭より、「奨学生に採用していただいたことをきっかけに、オグレスビー氏について図書館やインターネットで調べ、その功績に感銘を受けました。その名に恥じぬよう努力を尽くしたい」と玉那覇くんに代わつて感謝を述べました。

生徒たちの決意表明を受け、桑江専務理事は、「このように立派な生徒をサポートし、次代への人材育成に役立ててもらえるのは、沖縄県工業連合会としてもたいへん光栄なことです。2名の生徒には今後とも大いに頑張ってください」と激励の言葉をかけました。

最後に、大城理事長、桑江専務理事、八重山商工高等学校伊集満枝教諭、未来工科高等学校田仲康成校長が安里くんを囲んでの記念写真を撮影し、奨学生に採用された2名の生徒が大きく社会に羽ばたいていくことを期待して、今年度のオグレスビー氏奨学金交付式は終了となりました。



ベジフルマンマ代表
徳元佳代子氏



県産食材を使った「オリジナルレシピ」の紹介では、実際に調理実演が披露され、会場の注目を集めていました。

島ふ〜どが沖縄を元気にする。 沖縄県地産地消 シンポジウム2013



平成25年12月17日(火) かりゆしアーバンリゾート・ナハ



地域の農産物消費を推進する「沖縄県地産地消シンポジウム2013」が那覇市の沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで開催されました。

基調講演では、シニア野菜ソムリエ・ベジフルマンマ代表の徳元佳代子さんが、自身のがん治療体験や関東から沖縄の農家に嫁ぎ、長男嫁として農作業に取り組んできた経験談を交えながら、地元でとれた新鮮な野菜を食べることで健康な体を作ることの大切さを語りました。

有限会社トロピカルファームたまぐすく代表取締役大城浩明氏、久米島町生産組合の仲村渠勝枝氏、株式会社かりゆしフードサービス専務取締役名嘉剛志氏、沖縄県食育推進ボランティア代表安里千恵子氏を招いてのパネルディスカッションでは、それぞれの立場や取り組み事例を通して、食農教育の未来について意見が交わされました。

農作業に関わって作物の成長を観察し、収穫、調理して食べることによって、命を実感し、食の大切さや思いやり、感謝の心を培う食農教育。生涯にわたる健康的な食生活を実践していくための基礎となる食農教育は、「本県の長寿県復活」を果たすうえにおいて非常に重要視されています。

子供への訴求はもちろん、大人も新鮮な野菜が持つ高い栄養価を知り、消費者としてのように食材を選択するかあらためて考える、良い機会となりました。

県内の農家と契約し、新鮮な野菜をレストランのメニューとして提供している名嘉専務が、「ミラやチンゲンサイなど、高級食材や見た目が個性的な野菜など、沖縄にないものは県外から取り寄せているが、可能なら県内で作られたものを使用したい。同じものを大量に作るのではなく、変わったものを作ってもらえば、発注も増えるのでは」と、シェフとしての立場から提案。

有限会社トロピカルファームたまぐすくの大城氏からは、環境や健康に害を与えない自然農薬の推進について述べられるなど、具体性を持った話題も多く、来場者はもちろん、農業関係者も熱心に聞き入っていました。

名嘉専務によるデモンストレーションも行われ、ステージに設置された調理台で実際に調理。県産食材を巧みに組み合わせたオリジナル料理のレシピが紹介されました。

講演終了後には、ハルサーミュージシャンアイモコの歌に合わせて名護市海青保育園と南風原町みつわ保育園の園児たちが創作ダンスを披露し、会場を盛り上げました。

また、市町村出店ブースにはゆるキャラが応援に駆けつけるなどこちらも盛況でした。南風原町、大宜味村、うるま市、南城市、本部町、久米島町の農産物や県産食材を使った商品が並び、来場者が新鮮な野菜や加工品を買い求めていました。



工学部後援会主催就職説明会報告 参加企業数・学生数とも過去最高を記録

工学部後援会事務局 金城寛・照屋功

琉球大学工学部後援会は、12月4日、11日および18日(午後1時から4時)の3日間、後援会会員企業による就職説明会を琉球大学工学部1号館ロビーにて開催しました。全日程で44社(延べ数は58社)にご参加いただきました。前回5月の開催では25社だったので、約1.8倍の増加です。会員企業が琉大工学部に求める要望の一つに優秀な人材の提供であることがうかがえます。これに対して参加学生数は3日間で274(延べ人数)でした。この数値は参加企業、学生とも過去最高を記録しました。参加企業が増えた理由は現在の経済状況が上向きで、企業の採用意欲が増えたためと思われます。今回の説明会では会場が手狭になったため発表形式の説明会を割愛しなければなりません。また、

学生への説明は時間を区切ってするよう参加企業へ依頼しましたが、企業側から説明に十分な時間がなかったとの意見も出ました。企業と学生の双方にとって効果的な説明会の運営を検討することが今後の課題であります。

本就職説明会は、企業にとっては採用活動ですが、大学にとっては学生のキャリア教育の意味を持ちます。それは、学生が社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現することの教育です。社会へ巣立つ前の学生に会社概要に加えて、社会人としての考え方、心構えを丁寧に説明して下さる会員企業の諸氏に頭が下がる思いです。後援会会員企業が十分なメリットを得られるよう工学部教職員一同努力していきます。



お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(機械システム工学科内)

金城寛・照屋功

TEL:098-895-8632・3623 FAX:098-895-8636 URL: http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/?page_id=933



沖縄ポリテックビジョン2013

テーマ：—「沖縄発 ものづくり・人づくり」—

昨年11月25日の日曜日、「沖縄発 ものづくり・人づくり」をテーマに、沖縄ポリテックビジョン2013を開催しました。当日は、県内各地から2,600名あまりの来場者があり、ものづくり体験コーナーや学生エイサー、長崎大学大学院工学研究科教授の山本郁夫氏による宇宙ロボットや水中ロボットの可能性についての記念講演など、色々な催し物でにぎわいました。特に、ものづくり体験コーナーでは、子どもたちの真剣な表情で作業を進める姿を目の当たりにして、将来の沖縄県のものづくり人材育成に期待が持てる一日となりました。

当日の様子を紹介します。

各科展示体験コーナー



ET ロボコン展示 (企業展示)



学生エイサー演舞



記念講演会 (長崎大学教授 山本郁夫氏)



* 地域企業の皆さんと一緒に「ものづくり」を行っていきたくと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

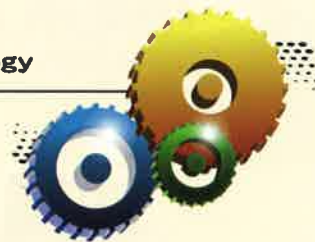
お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校**

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

●URL <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



「久辺テクノフェスタ2013」に参加しました。

沖縄高専では、11月23日(土)開催の久辺テクノフェスタ2013に参加し、伊東繁校長がオープニングセレモニーでテープカットを行ったほか、技術室の職員による子ども電子工作教室を開設し53名の子どもたちが電子工作に挑みました。

光をテーマとした子ども電子工作教室では、下敷きの色にセンサーが反応して目玉の色が変化する「カエルの工作」を行っていただきました。電子部品の組み立てや初めて手にするハンダを使った工作作業に悪戦苦闘しながら「カエル」を完成させた時の笑顔が達成感に満ちあふれ印象的でした。

電子工作教室の会場に入りきれない来場者もあり、大盛況に終わりました。



テープカットを行う伊東校長



電子工作教室の一コマ

うるま市内の小中学生が沖縄高専で授業体験を実施しました。

沖縄高専では、11月28日(木)、29日(金)の両日にうるま市内の小中学生約260名を対象に、科学実験等の授業を行いました。本取り組みは、うるま市・金武町企業立地促進協議会の事業の一環として、ものづくりを中心とした中城湾港への企業集積に向け、子どもたちに科学に対する興味関心や将来の目標をもってもらうことをねらいとして企画されたもので、昨年に引き続き、同校とうるま市の連携協力協定の締結に基づき実施されました。

授業は、小学生向けに「スターリングエンジンの製作」、「メロディ回路の組み立て」、「マイナス190度の世界」、「植物の増え方」、「目に見えない微生物の世界」の5テーマ、中学生向けに「物質の三態・状態変化」、「ビュートレーサー・コンピューター制御」の2テーマを設けて実施しました。

気体が暖まると膨張し、冷やされると圧縮する性質を利用した「スターリングエンジンの製作」やハンダを使った「メロディ回路の組み立て」、コンピュータを用いた「ビュートレーサ

ー・コンピューター制御」に悪戦苦闘しながらも科学技術を楽しむ姿が見られました。また、乳酸菌や麹菌などの身近な微生物の観察や液体窒素を用いた科学実験を通して、科学の楽しさ、面白さ、不思議さを体験させることができました。

授業終了後は夢工場や図書館等の教育研究施設の見学も行われ、出前授業実施アンケートでは、約9割の子どもたちが科学に興味を持ち、5割以上が将来は沖縄高専に進学したいとの回答があり、沖縄高専にとっても今後に期待が持てる結果となりました。



小学生向け授業の一コマ



中学生向け授業の一コマ

小学校で出前授業を実施しました。

沖縄高専では、11月27日(水)に沖縄県浦添市立前田小学校で出前授業を実施しました。

この出前授業は、沖縄高専と浦添市との連携協力協定の締結に基づく事業の一環によるもので、同小学校の体育館において、6年生約90名を対象に、生物資源工学科 平山けい教授により、「液体窒素(マイナス196℃)の世界!」をテーマに授業が行われました。

授業では、気体と液体のかかわりなどと共に空気や水の沸点、生物に含まれる水の量、空気の成分等を学び、液体窒素と風船や花などの植物を利用した公開実験も行いました。

マイナス196℃の世界で起こる不思議な現象に子ども達は

驚きの声をあげ、授業終了後のアンケートでは子ども達全員が理科の楽しさ、面白さを体験できたとの回答があり、短い時間ではあったが大変有意義な出前授業となりました。



前田小学校での液体窒素を用いた実験の光景



お問合せ先

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL:0980-50-0133 / FAX:0980-55-4012 E-mail:sangaku@ml.cosmos.ne.jp

国立大学法人 琉球大学 亜熱帯特有“とっておきの”

知財

工学最前線(四) 大気圧プラズマ滅菌装置の開発

① 小惑星イトカワから 帰還した「はやぶさ」

平成22年6月13日、テレビ画面に張り付いて「はやぶさ」(図1)から切り離されたカプセルが大気との摩擦で燃えながら地球に降りてくるのを固唾を飲んで見守り、そして無事帰還に歓声を上げた。「はやぶさ」は日本人に大きな自信と夢・希望として「あきらめない心」を与えた。多くの困難をわずかな可能性にかけて克服した関係者、技術者に心底から尊敬・感謝する。

「はやぶさ」は太陽を回る人工惑星であるが発射から帰還まで七年余も宇宙空間を飛行した。この飛行を支えたロケットエンジンにはキセノンガスをイオン化し、電場で加速して吹き出すイオンエンジン(図2)と言う全く新しい推進方法が採られた。これは宇宙空間(真空中)だからこそ簡単・軽量・高性能に出来た方式である。イオン化ガス(プラズマ)はフィルム処理や半導体製造等に普通に使用されている技術であるが今回の「はやぶさ」では多くの人々に大きな感動を与えた。

② 安全で安価な 滅菌方法を目指して

物質には固体・液体・気体と温度により変化する三態があると教わるが、厳密には更に高温にてイオン化したプラズマ状態(電離気体、図3)が存在する。プラズマにはプラスやマイナスに電離(イオン化)した気体粒子、或いはラジカル等多様な活性粒子が含まれ、中には一万度に達する工

ネルギー(温度)を持つものもある。プラズマ全体の温度によって、高温プラズマと低温プラズマに分類される。例えば、溶接に使われるアークは高温プラズマであり、LSI等のエッチングでは低温プラズマが使われる。一般に高温プラズマは大気圧で作られ、低温プラズマは低圧(真空)で作られる。従って、半導体の製造工程は高価で大きな真空設備が必要になる。この低温プラズマが大気圧で作ることができればその用途や経済的な優位性は格段に広がる。大気圧で低温プラズマを作ろうとする試みは従来から行われており、フィルムの表面処理など極狭に限られた空間や条件では成功していた。

工学部の米須章教授は「大気圧低温プラズマ」を飲料容器や医療機器の滅菌に応用することを旨として研究を続け、気体を電離(プラズマ化)させる為に、印加電圧の周波数をマイクロ波とし、その誘導方式やプラズマの着火・継続機構等を最適化して、新しいプラズマ発生装置を開発した(特許5239021)。本技術の特徴はマイクロ波の誘導方式と特殊なスリットを有するアンテナ(図4)であり、その為に大気圧下でも低温で安定して気体が電離しプラズマ化する。この装置を用いれば、酸素カスもプラズマ化でき、滅菌等の処理効果が格段に大きくなる。従来は、真空中でしか出来なかった飲料ボトルや医療器具のプラズマ滅菌にも応用でき、装置コストや処理コストが大幅に安くなる。特に医療機器分野では機器のプラスチック化に伴い従来の滅菌法(高温蒸気滅菌)が採用しにくくなっているが、こうした大気圧低温プラズマを滅菌に応用する範囲が格段に広がっていく事が期待できる。

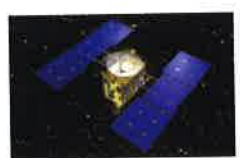


図1 宇宙船「はやぶさ」

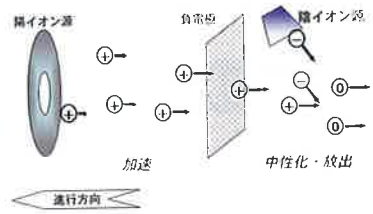


図2 「はやぶさ」に搭載されたイオンエンジンの原理図

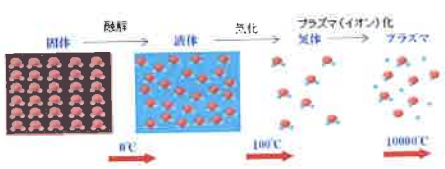


図3 水(H₂O)の温度における状態変化

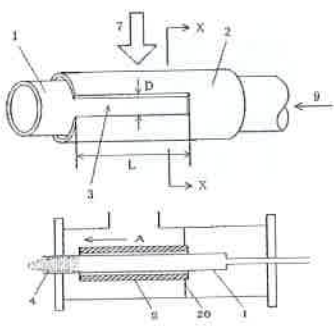


図4 大気圧プラズマ装置

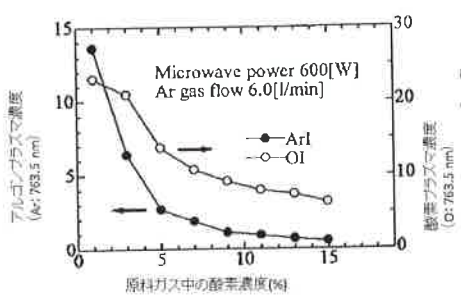


図5 Ar/O₂ガスを使った場合のプラズマ中における酸素プラズマ濃度

お問合せ先

国立大学法人琉球大学 産学官連携推進機構 知的財産部門 近藤義和
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 E-mail: kondoyos@lab.u-ryukyu.ac.jp



沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数 / 22名(2013年9月現在)



お問合せ先: 公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄

の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。



- お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当: 座間味

沖縄ガス ショールーム

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

YOU-KURU



1F▶ 展示スペース

- ガスコンロ展示スペース ●システムキッチンコーナー ●ウイズガスハウス ●比較・実演コーナー
- キッズスペース&授乳室 ●ミストサウナ体験コーナー ●「涼風」ブース ●創エネ・省エネコーナー

2F▶ キッキングスタジオ・セミナー室・会議室

広々スペースに最新の商品を随時展示中。
 ガスのある快適な暮らしをご提案いたします！

「ゆ〜くる」で学ぶ。
 お料理教室やセミナーも！

最新商品を実際に見て・
 触ってご体感いただけます
 ですので細かな部分までご
 確認いただけます。暮らし
 のアイデアがひらめく
 「ゆ〜くる」でごゆっくり
 お過ごしください。



クッキングスタジオでは
 「お料理教室」を、セミナ
 ー室・会議室では随時
 セミナーを開催中。



沖縄ガス ショールーム ゆ〜くる
YOU-KURU

開館時間：10:00～17:00 休日：年末年始・旧盆（ウークイ）



「ゆ〜くる」へのお問合せはこちら ☎(098) 863-7750 (ショールーム)

沖縄ガス 検索

ガスで節電!

ウイズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー
沖縄ガス

代表取締役社長 宮城 諒
 沖縄県那覇市西3-13-2 TEL:098-863-7730